

**C館
C-多目的
利用手引き**

第 1.2 版

平成 28 年 4 月 20 日

法学部事務課

制定・改訂履歴

版数	制改訂年月日	改訂内容	作成者	確認者	承認者
第 1.0 版	2016 年 4 月 1 日	初版			
第 1.1 版	2016 年 4 月 18 日	説明等修正			
第 1.2 版	2016 年 4 月 20 日	2.12.に詳細説明を追加			

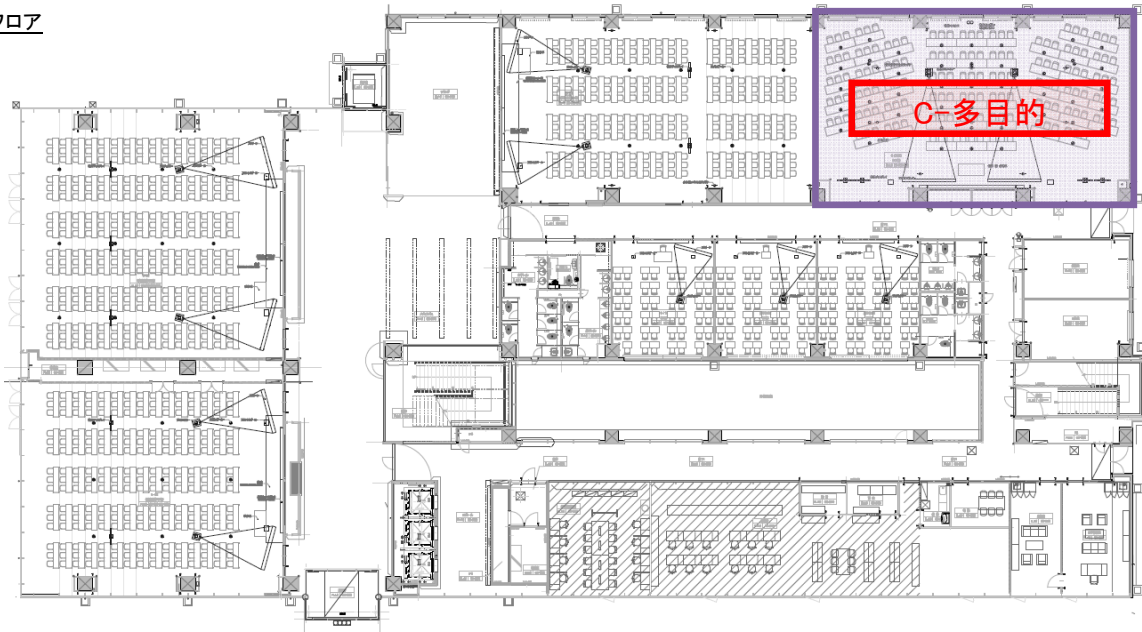
目次

1. 教室概要	1
1.1. 教室フロアについて.....	1
1.2. 教室レイアウトについて.....	1
1.3. 教室の設備について.....	2
2. 教室の利用方法について	3
2.1. 操作卓について.....	3
2.2. システムの起動方法.....	4
2.3. プロジェクターの利用方法.....	5
2.4. プロジェクターの投影方法.....	5
2.5. 有線マイクの利用方法.....	6
2.6. マイクについて.....	7
2.6.1 マイクの利用方法.....	7
2.6.2 ワイヤレスマイクの連続使用時間・充電時間について.....	7
2.7. プレビューモニターを使用する.....	8
2.8. ブルーレイプレーヤーの操作方法.....	9
2.9. 書画カメラの利用方法.....	10
2.10. パソコンの利用方法.....	11
2.11. 持込機器の利用方法(常設ケーブルについて).....	12
2.12. Web 会議システム用のカメラ・マイク・スピーカーの使い方.....	13
2.13. システムの終了方法.....	16

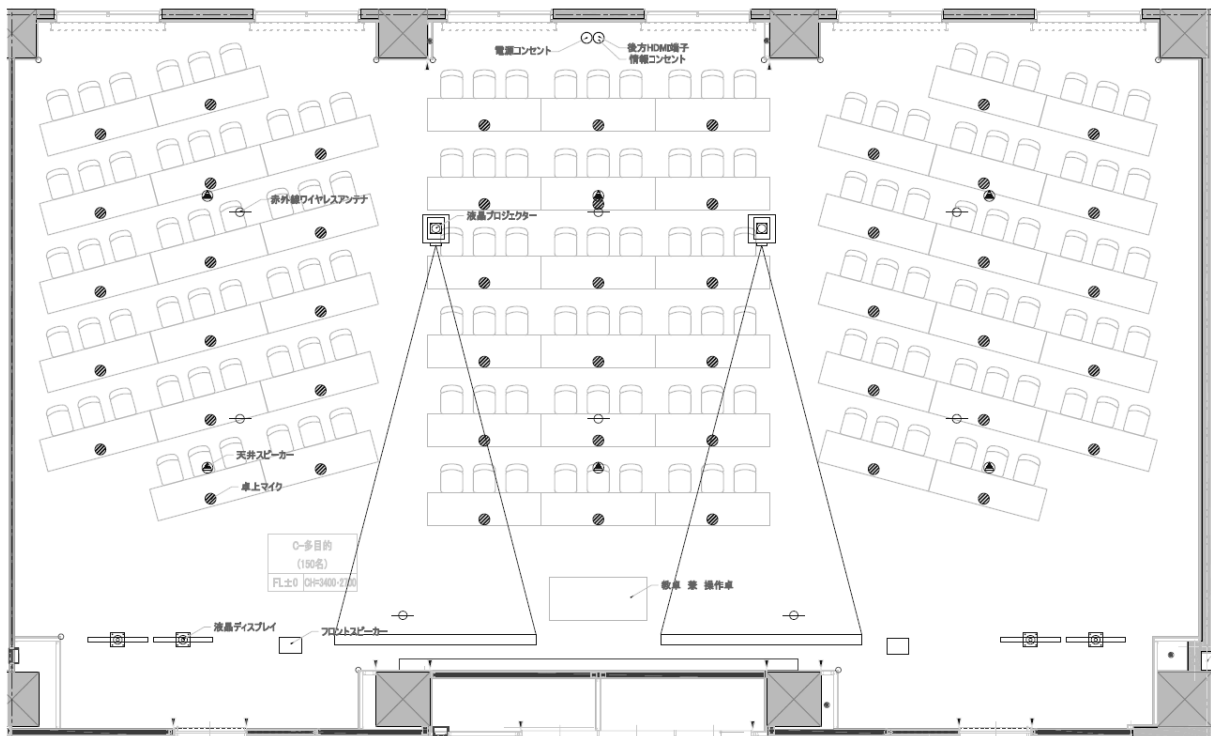
1. 教室概要

1.1. 教室フロアについて

1階フロア



1.2. 教室レイアウトについて

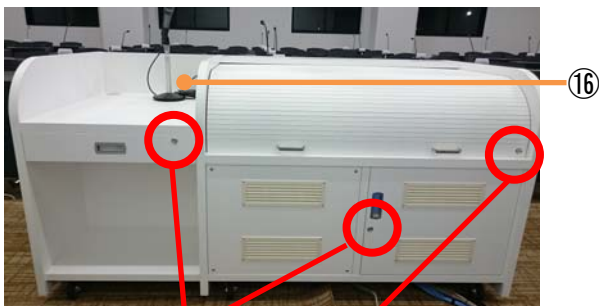


1.3. 教室の設備について

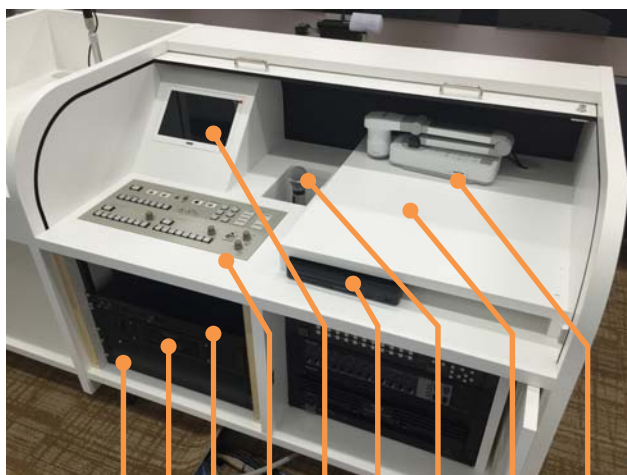
教室名	プロジェクター	スクリーン	モニター	マイク設備	BD	書画カメラ	操作パネル	システム制御
C-多目的	2台	電動150インチ2台	47型4台	ハンド型1台 タイピン型1台 卓上マイク50台	○	○	○	○

2. 教室の利用方法について

2.1. 操作卓について



⑬ 鍵位置 (共通)



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨



⑩

⑪

⑫

⑬

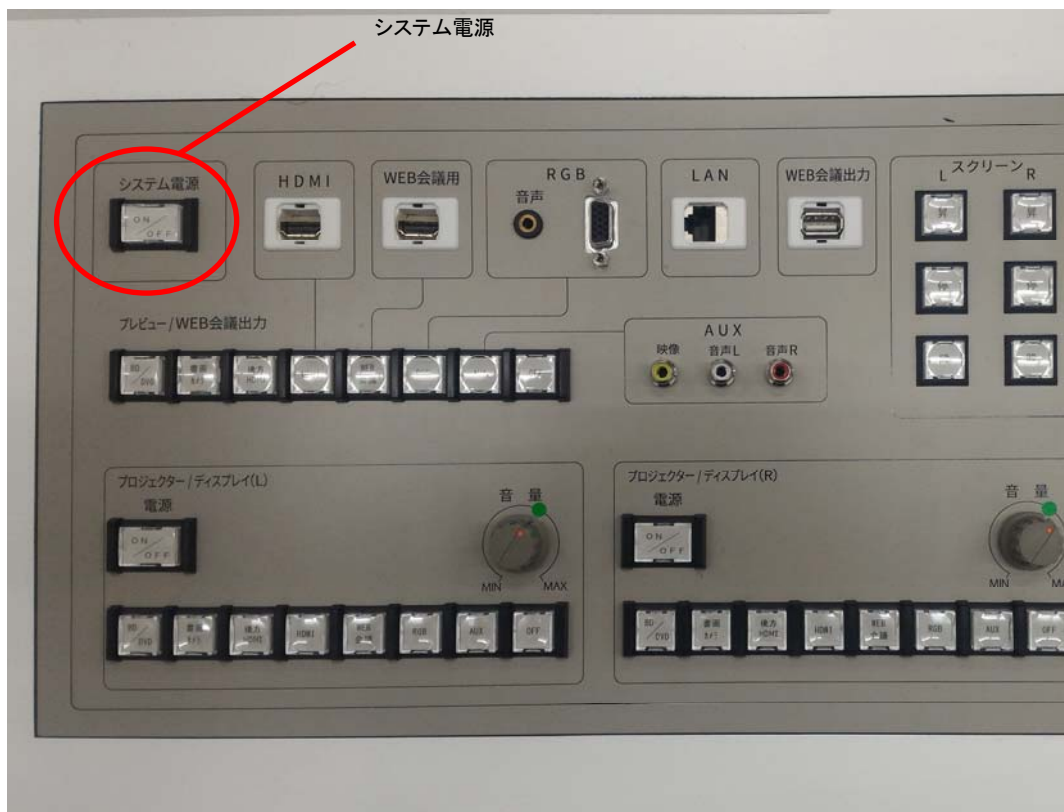
⑭

⑮

① 制御インターフェース	② マスターコントロールユニット
③ デジタルボイスコントローラー	④ 操作パネル
⑤ プレビューモニター	⑥ ブルーレイプレーヤー
⑦ ワイヤレスマイク(置き場)	⑧ ノートパソコン
⑨ 書画カメラ	⑩ Cat.6 分配映像伝送器
⑪ マルチスイッチャー	⑫ デジタルミキサー
⑬ パワーアンプ	⑭ ハイインピーダンスアンプ
⑮ 主電源装置	⑯ 有線マイク

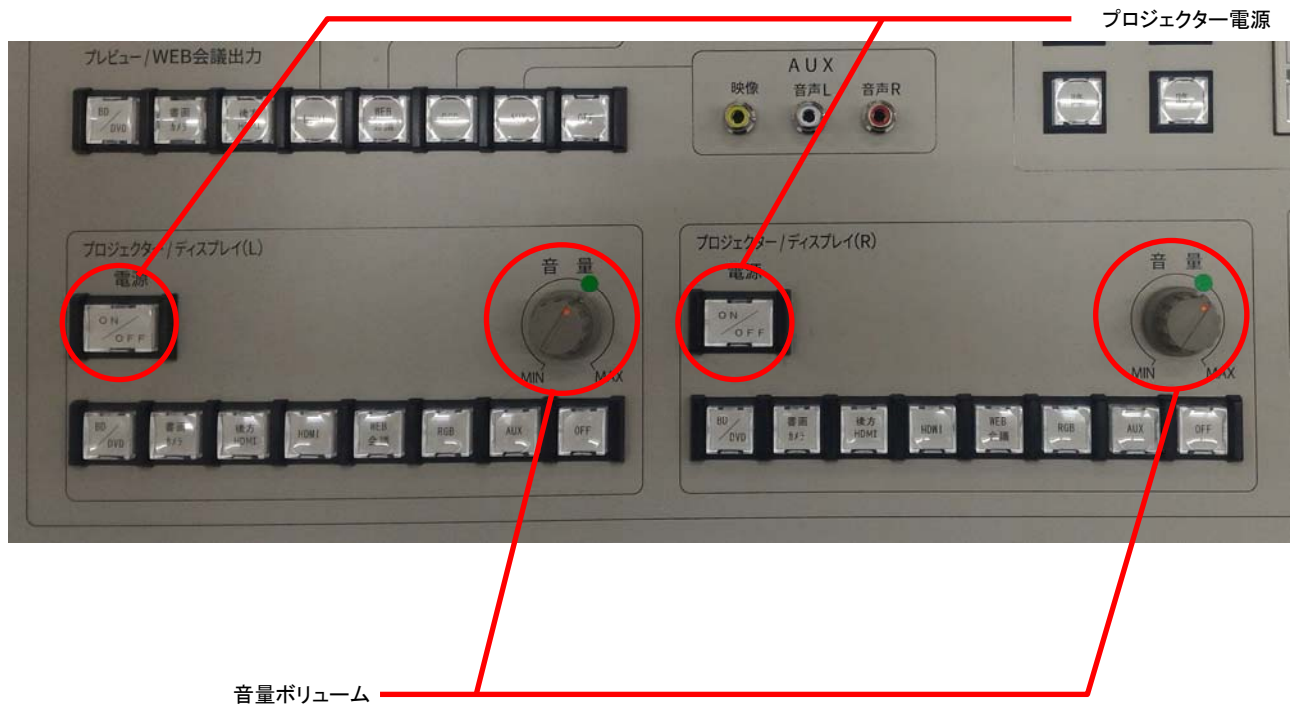
2.2. システムの起動方法

1. 鍵を開ける
2. 操作卓を開ける
3. 操作パネルのシステム電源を ON にします
4. 電源ボタンが数秒間点滅した後、点灯します



2.3. プロジェクターの利用方法

1. システム電源を起動します(2.2.システムの起動方法 参照)
2. 操作パネルのプロジェクター電源を ON にします
3. プロジェクター電源が ON され、スクリーンが自動的に降下します



2.4. プロジェクターの投影方法

プロジェクターに投影したい出力を操作パネルで選択します



2.5. 有線マイクの利用方法

1. システム電源を起動します(2.2.システムの起動方法 参照)
2. マイクケーブルを操作パネルの「有線マイク」に接続します
3. 有線マイク音量で音量調整します
4. ケーブルを抜くときは「PUSH」を押しながら引きます



2.6. マイクについて

2.6.1 マイクの利用方法

1. システム電源を起動します(2.2.システムの起動方法 参照)
2. 操作卓内からマイクを取り出す
3. マイクのスイッチを ON することでスピーカーより音声が出力される
4. 音声の音量調整は、音量ボリュームで調整します
5. 利用後は、充電スタンドにマイクを戻します



※同時利用は 5 台まで



2.6.2 ワイヤレスマイクの連続使用時間・充電時間について

ワイヤレスマイクの連続使用時間・充電時間は下記のとおりです

また、各時間は電池の残容量や劣化状況により大きく変動する場合があります

連続使用時間	充電時間(電池残量なしの場合)
約 7 時間	約 5.5 時間

2.7. プレビューモニターを使用する

1. システム電源を起動します(2.2.システムの起動方法 参照)
2. 「プレビュー/WEB 会議出力」を選択します

※WEB 会議利用時にはプレビュー機能は一時的に利用できなくなります。



2.8. ブルーレイプレーヤーの操作方法

1. システム電源を起動します(2.2.システムの起動方法 参照)
2. 操作パネルで「BD/DVD」ボタンを選択します
3. 電源ボタンを ON にします
4. リモコンでトレイ開閉ボタンを押下します
5. 本体のトレイが引き出されます
6. トレイにBD/DVD/CD をのせます
7. リモコンでトレイ開閉ボタンを押下します
8. 操作卓の確認モニターを見て、BD/DVD/CD を操作します



- ① ブルーレイを再生する
- ② ブルーレイを一時停止する
- ③ ブルーレイを停止する

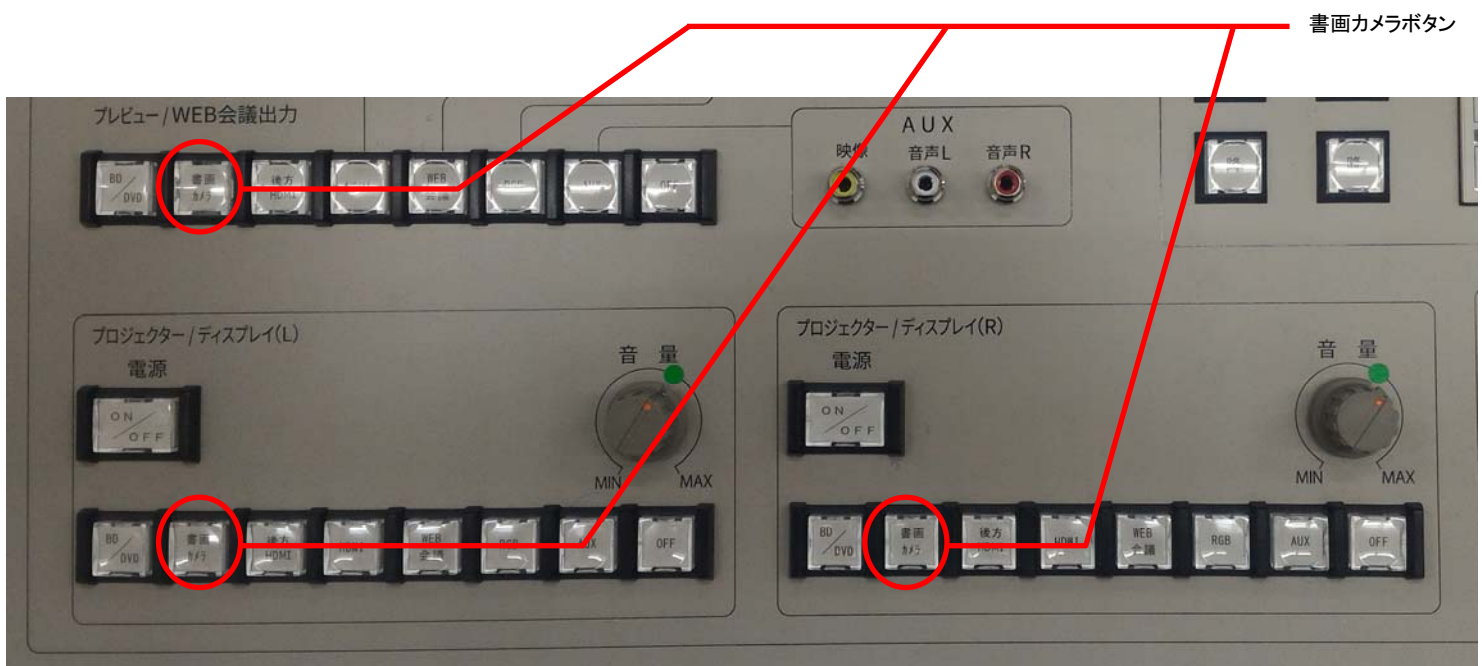
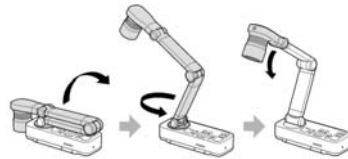


2.9. 書画カメラの利用方法

書画カメラは盗難防止のため、利用後は、操作卓に片付けられています
そのため、プロジェクターに投影するには書画カメラを利用できるようにします

1. システム電源を起動します(2.2.システムの起動方法 参照)
2. 所定の位置に置きます
3. 書画カメラのアームを起こします
4. 操作パネルの「書画カメラ」を選択し、プロジェクターに投影します
5. 利用後は、元に戻します

アームの起し方



2.10. パソコンの利用方法

パソコンは盗難防止のため利用は操作卓に取り付けられています

そのため、プロジェクターに投影するにはケーブルを接続する必要があります

1. システム電源を起動します(2.2.システムの起動方法 参照)
2. パソコンを取り出し、所定の位置へ置きます
3. 映像ケーブルを接続します
4. LAN ケーブルを接続します
5. AC 電源アダプターを接続します
6. パソコンの電源を ON にします
7. 操作パネルで「WEB 会議」ボタンを選択し、プロジェクターへ投影します
8. 音量の調整は、音量ボリュームで調整します



音量ボリューム



HDMI ボタン

パソコン出力設定



2.11. 持込機器の利用方法（常設ケーブルについて）

操作卓の引き出しには持込機器を接続できるケーブルが入っています

そのケーブルを使用し、外部入力パネルに接続します

プロジェクターに投影したい入力を選択ボタンで選択し投影します

表 1 引き出しに入っているケーブル一覧

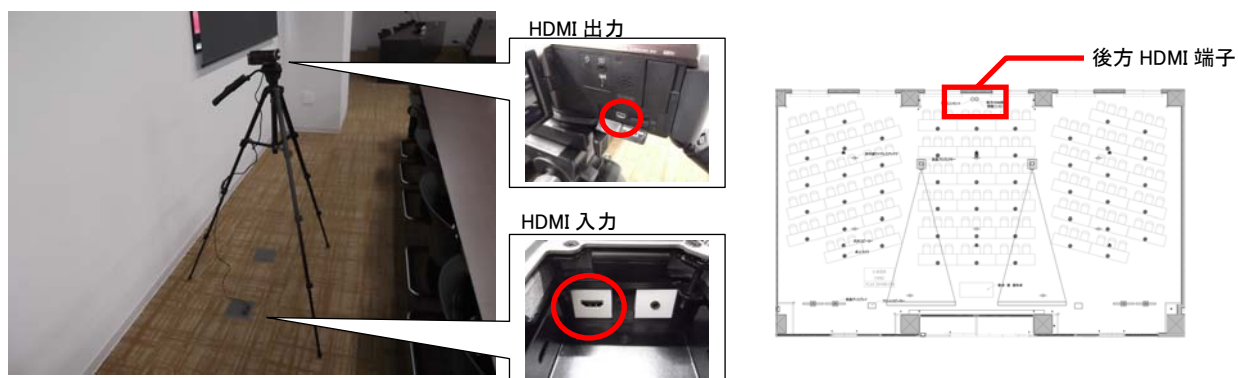
線種	数量	接続箇所
HDMI ケーブル(1.5m)	1 本	操作パネル「HDMI」
RGB ケーブル(1.5m)	1 本	操作パネル「RGB」
ステレオミニケーブル(1.5m)	1 本	操作パネル「RGB」
RCA ケーブル(1.5m)	1 本	操作パネル「AUX」
LAN ケーブル(1.5m)	1 本	操作パネル「LAN」
USB ケーブル(3m)	1 本	操作パネル「WEB 会議出力」

2.12. Web 会議システム用のカメラ・マイク・スピーカーの使い方

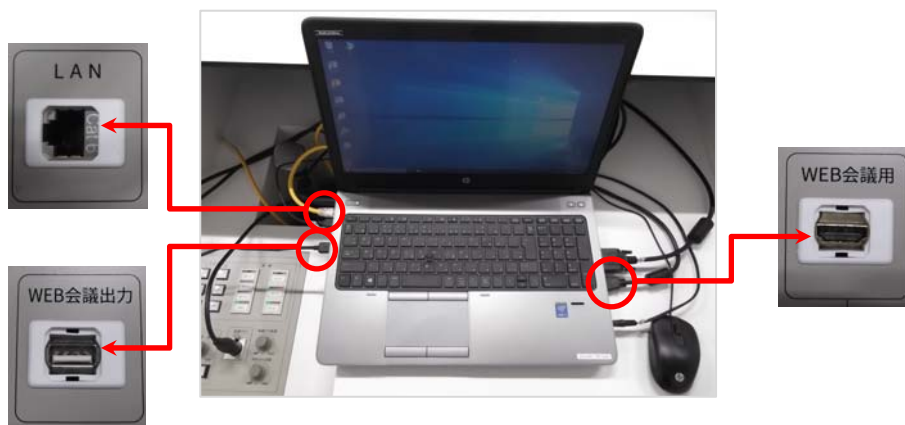
C-多目的で V-CUBE 等の Web 会議システムを使用する場合、C-多目的に常設しているマイク、スピーカーと C-多目的に配備してあるカメラを使用することができます。

カメラは後方に設置できるよう端子を用意していますので、次の手順に従い、設置・接続を行います。

1. 教室に配備してあるカメラと三脚をセットし、教室後方にある後方 HDMI 端子付近に設置し、後方 HDMI 端子 (床コンセント) に HDMI ケーブルを接続します。

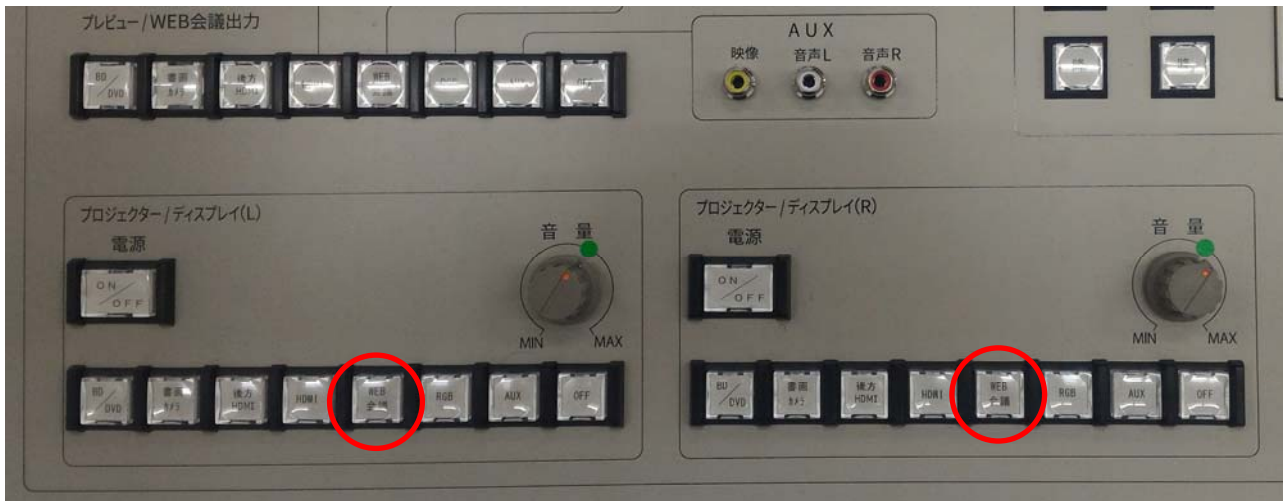


2. システム電源を起動します (2.2.システムの起動方法 参照)
3. WEB 会議用パソコンを「WEB 会議用 (HDMI)」に HDMI ケーブルで接続します
4. LAN ケーブルを接続します (パソコン持込みのとき)
5. AC アダプターを接続します (パソコン持込みのとき)
6. 「WEB 会議出力」を USB ケーブルでパソコンに接続します



7. パソコンの電源を ON にします

8. 操作パネルで「WEB 会議」を選択します



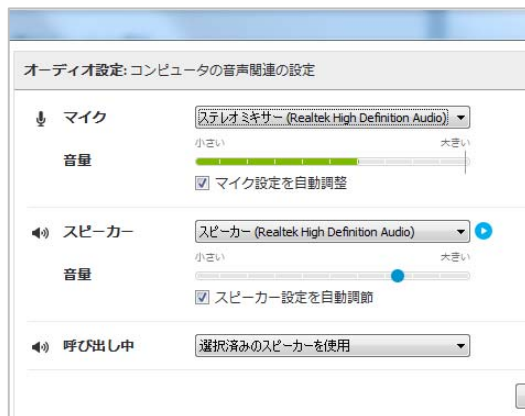
9. 操作パネル「プレビュー/WEB 会議出力」から「後方 HDMI」を選択します



10. 音量はオーディオミキサーの「MAIN OUT2」を操作して調整します



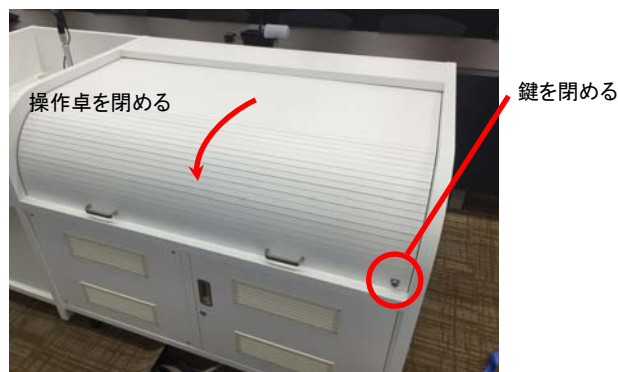
11. 利用するWEB 会議のデバイス設定にて接続した USB デバイスを選択します



※WEB 会議パソコンは「WEB 会議用」(HDMI) 以外に接続しないで下さい。WEB 会議上で音声障害（ハウリングやエコー）の原因となりますので注意して下さい。

2.13. システムの終了方法

1. 操作パネルの「システム電源」を OFF にします
2. プロジェクターの電源が OFF になります(プロジェクターON のとき)
3. スクリーンが自動的に上昇します(スクリーンが下りている時)
4. 操作卓を閉めます
5. 操作卓を施錠します



■システム電源を間違えて OFF にした場合

システム電源をすぐに ON すればシステムは ON となります。

■システム電源を間違えて OFF にしたときにプロジェクターの電源も OFF となったとき

システム電源をすぐに ON として、システムは ON となりますが、プロジェクターはクーリング処理をしているため、プロジェクターの電源は ON とならず、プロジェクターの電源ボタンは点滅します。プロジェクターの電源がクーリング処理終了後(およそ3分後)、プロジェクターの電源が入れば、プロジェクターの電源ボタンが点灯し、利用可能となります。